

GPS
無線LAN
不用

RFID+デジタルコンパスによる 位置情報ガイドソリューション

～3つの視点でロケーション情報をより鮮明に～



高堅牢タブレット
ET1

ワンステップ上の位置情報管理により棚卸や保管状況の把握を効果的に実現します

オフラインの環境下においても、3つのキーと視点により、ターゲットアイテムのロケーション情報を明らなものとする「RFID+デジタルコンパス」。

1つ目のキーとなる資産・物品管理システム「**MONISTOR**」は、棚卸や貸出管理等をサポートするソフトウェアです。同ソフトでアイテムの情報を取りまとめ、基本のデータとします。データは一元管理出来るので、社内やチーム等での共有化が可能です。

この3つのキーが「ビジュアル化」したものが、**相関図・方向探索・距離検知**の3つの視点となり、「探す」事への選択しを増やし、「管理」するハードルを下げます。以上をアプローチ方法とする、新しい位置情報ガイドをご提案いたします。

2つ目はUHF帯RFIDリーダライタ「**DOTR-900Jシリーズ**」。事前にアイテムへ取り付けられたICタグと連携を図り、探索者を起点とした距離や方向を特定、見つけやすくします。RFIDの特性を活用した手法となります。

最後のキーとなるのが、タブレット「**ET1**」。1つ目、2つ目のデータをビジュアル化し、探索者をターゲットアイテムの元へナビゲートします。直感的なUIにより、短時間のトレーニングでも問題なく利用することができます。



RFIDリレーションシップ
ダイヤグラムシステム

UHF帯RFIDリーダライタ
DOTR-900J
シリーズ



相関図

アイテム情報から個々のつながりを見つけ出し、それらをリンクします。

方向探索

探索位置を中心としてアイテムがある方向を特定します。

距離を検知

ICタグから受信する電波強度をもとにアイテムまでの距離を割り出します。

本資料に記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。記載内容については、改良のため予告なしに変更することがございます。

